



おおくぼ

学校教育目標 ゆめにむかって かしこく やさしく たくましく
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

令和8年4月28日 5月号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関21

048(854)7636

男子103名 女子104名 計207名

今年度も、地域の方々から頂いた「こいのぼり」を飾りました。全校の子どもたちが常に見ることができるように昇降口に飾ってあります。ご来校の際はぜひご覧ください。

また、正門には、ボランティアの方がお世話をしてくださっている花壇の花がきれいに咲いています。

たくさんの方々を支えられ、子どもたちは成長しています。いつもありがとうございます。



「受け継がれるもの 繋いでいくもの」

校長 平塚 宗一

校内を歩いていると、掲示板や教室表示、タイルアートや鏡、花台など、本校の代々の卒業生が残してくださったたくさんの卒業制作を目にします。私自身も「小学生の時に作ったなあ」と思い出します。今も大切に受け継ぎ、校内に飾ったり、活用させていただいたりしています。

先日、朝のあいさつで門に立っていた際に、ある保護者の方と登校の様子についてお話をする機会がありました。門を入った後に、仲良く手をつないで歩いていた様子を見ながら、「近所に1学年違いの子が住んでいて、いつも優しくしてくれるんです。」と話してくださいました。また、朝の1年生の教室では、6年生が、登校してきた1年生の荷物整理のお手伝いをしてくれています。すべて代わりにやってあげるのではなく、1年生に「教えながら、一緒に」準備をしています。どちらもとても微笑ましく、心が温くなるエピソードでした。

「上級生が下級生の面倒を見る」ことは、当たり前のように思われますが、それは一朝一夕にはいかないことだと思います。これまで自分たちが同じようにしてもらった経験がしっかりと心に残っているからではないでしょうか。そしてそれが今日まで本校の伝統として、大切に受け継がれているからだと思います。

私たち教職員は、これからも、子どもたちとともに、大久保小学校の伝統を受け継ぎ、繋げていきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

<卒業記念品の一部を紹介します>

